

しずおかフィナンシャルグループ

2023年度 第1四半期決算ハイライト

2023年 7月

Xover
— 新時代を拓く

2023年度第1四半期決算の概要（連結）

(億円、%)	2023年度 第1四半期	前年同期比※1	
		増減額	増減率
連結粗利益	444	+65	+17.1
営業経費（△）	262	+8	+3.3
持分法投資損益	5	+3	+131.9
連結業務純益※2	186	+61	+48.8
与信関係費用（△）	15	+6	+60.1
株式等関係損益	59	△9	△13.5
連結経常利益	233	+42	+22.2
特別損益	△0	△2	△117.6
税引前純利益	233	+41	+21.2
法人税等合計（△）	68	+21	+43.5
連結四半期純利益※3	165	+20	+14.0
ROE	5.6	+0.3	—

※1 2022年度第1四半期以前は静岡銀行連結決算

※2 連結業務純益=静岡銀行単体業務純益+連結経常利益-静岡銀行単体経常利益

※3 親会社株主に帰属する四半期純利益

連結粗利益 444億円（2期振り増益） ※1

静岡銀行単体の業務粗利益の増加（+61億円）を
主因に+65億円増加

連結業務純益 186億円（2期振り増益） ※1

営業経費が増加するも、業務粗利益、持分法投資損益等が
増加し+61億円増加

連結経常利益 233億円（2期連続増益） ※1

進捗率 29.1%

個別貸倒引当金繰入額が増加、株式等関係損益が減少した
一方で、業務純益が増加し+42億円増加

連結四半期純利益 165億円（4期連続増益） ※1

進捗率 29.4%

経常利益の増加により+20億円増加

主要グループ会社の業績

静岡銀行単体

	(億円、%)	前年同期比	
		増減額	増減率
2023年度第1四半期			
業務粗利益 (コア業務粗利益)	414 (400)	+61 (△37)	+17.2 (△8.5)
資金利益	331	+18	+5.6
役務取引等利益	70	+10	+17.3
特定取引利益	2	△4	△67.4
その他業務利益	12	+37	△145.2
(うち国債等債券関係損益)	(14)	(+98)	(△116.6)
(うち外為売買損益)	(△4)	(△63)	(△107.5)
経費(△)	238	+6	+2.6
実質業務純益	176	+55	+45.0
コア業務純益(除く投信解約損益)	162	△41	△20.2
一般貸倒引当金繰入額(△)	△6	△6	-
業務純益	183	+61	+50.2
臨時損益	47	△19	△28.5
うち不良債権処理額(△)	17	+10	+152.6
うち株式等関係損益	60	△9	△12.8
経常利益	229	+42	+22.7
特別損益	△0	△2	△117.6
税引前四半期純利益	229	+41	+21.7
法人税等合計(△)	60	+19	+47.7
四半期純利益	169	+22	+14.5
与信関係費用(△)	10	+4	+53.8

静岡銀行以外の主要グループ会社

	静岡経営コンサルティング		静岡リース	
	2023年度第1四半期	前年同期比	2023年度第1四半期	前年同期比
売上総利益	3	+1	8	△0
経費(△)	3	+1	4	△1
経常利益	1	+0	5	+1
四半期純利益	1	+0	3	+0

	静岡キャピタル		静岡ティーエム証券	
	2023年度第1四半期	前年同期比	2023年度第1四半期	前年同期比
売上総利益	1	+0	18	+1
経費(△)	1	+0	13	+0
経常利益	0	△0	5	+1
四半期純利益	△0	△0	4	+1

主要グループ会社の取組状況

静岡経営コンサルティング

主力のM&A部門は堅調に推移。新たにJクレジット業務を開始したほか、DXコンサルの専担者採用などにより幅広い顧客ニーズへの対応力を強化

静岡リース

与信関係費用を中心に経費が減少し増益。2023年6月より、新たにカーボンオフセットリースの取扱いを開始

静岡キャピタル

外部専門人材を採用し、投資先企業への支援体制を強化。2023年6月末には名古屋銀行とのアライアンスファンド(総額5億円)を設立

静岡ティーエム証券

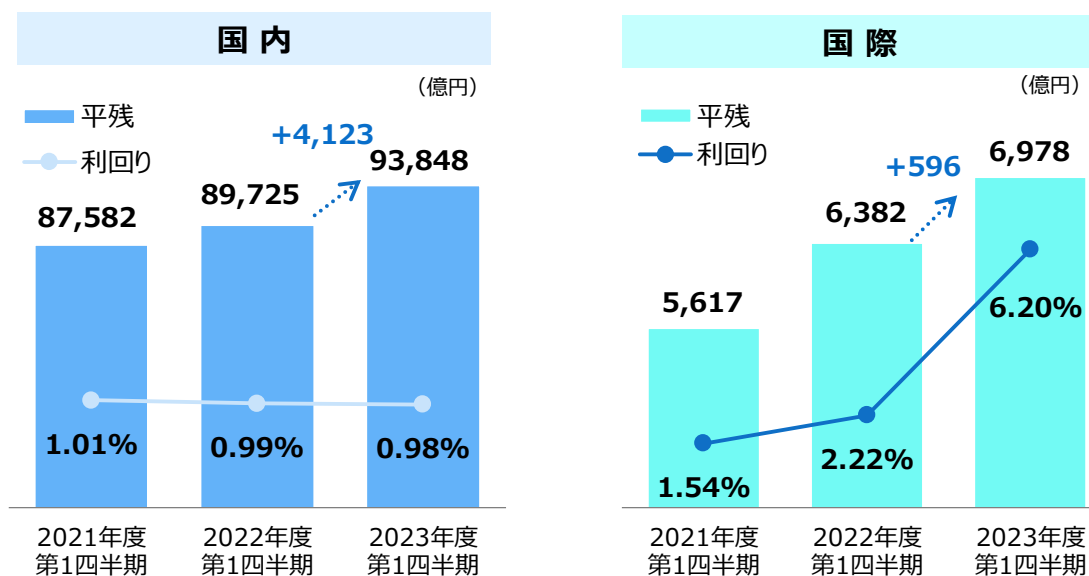
相場環境の改善を背景に、金融商品販売額が増加し増益。引き続き、新NISA制度の開始を見据え、投信、ラップ等を中心にストック収益の拡大に取組む

資金利益は、国内業務部門の順調な推移に加え、国際業務部門が増加に転じたことにより、全体で+18億円増加

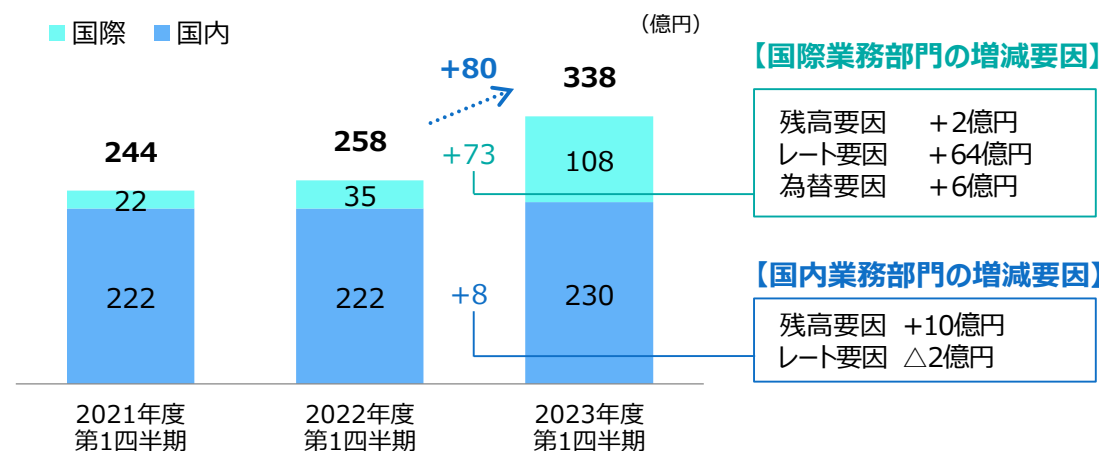
資金利益の内訳

(億円)	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比
資金利益	311	313	331	+18
国内業務部門	288	293	306	+14
貸出金利息	222	222	230	+8
有価証券利息配当金	66	67	78	+11
うち債券	5	9	22	+13
うち投信	5	0	0	±0
資金調達費用(△)	3	2	6	+3
うち預金等利息(△)	3	3	2	△0
その他	3	6	4	△2
国際業務部門	23	21	25	+4
貸出金利息	22	35	108	+73
有価証券利息配当金	15	18	58	+40
うち債券	12	14	57	+43
うち投信	2	4	1	△3
資金調達費用(△)	14	36	181	+145
うち預金等利息(△)	3	14	96	+82
その他	1	4	40	+37

貸出金残高 (平残)・利回り推移



貸出金利息の推移



貸出金（静岡銀行単体）

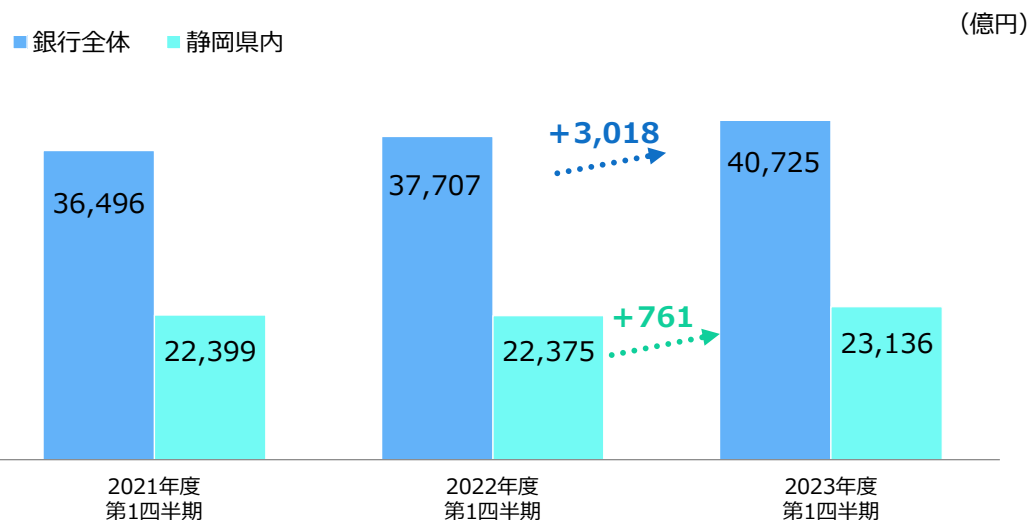
総貸出金残高は中小企業向け・消費者ローンを中心に増加し、平残は10兆円の大台に到達（年率+4.9%）

貸出金残高（平残）

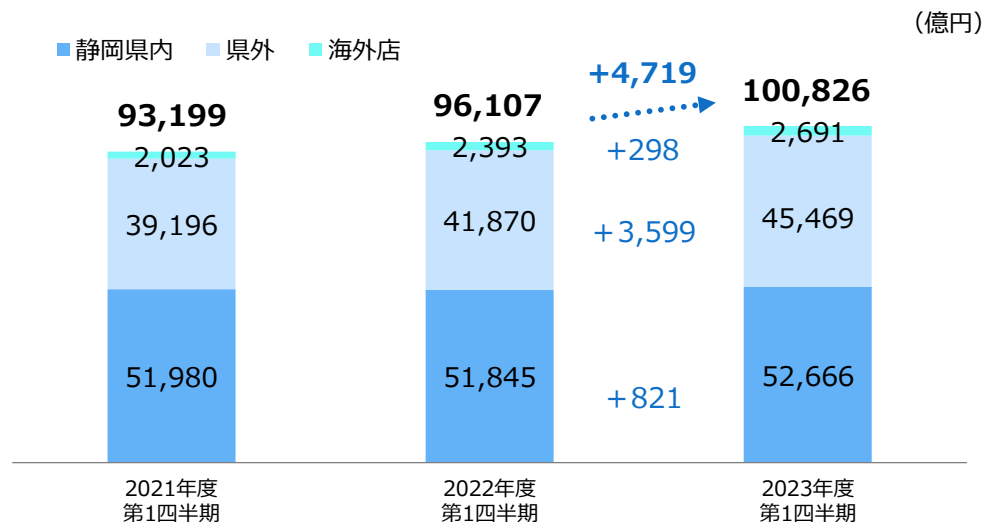
	2023年度 第1四半期	前年同期比 増加額	年率
総貸出金	10兆826億円	+4,719億円	+4.9%
中小企業向け貸出金	4兆725億円	+3,018億円	+8.0%
大・中堅企業向け貸出金	1兆8,552億円	+120億円	+0.6%
消費者ローン	3兆7,722億円	+1,414億円	+3.8%
外貨建貸出金	6,525億円	+507億円	+8.4%

残高要因 +139億円 為替要因 +369億円

うち中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



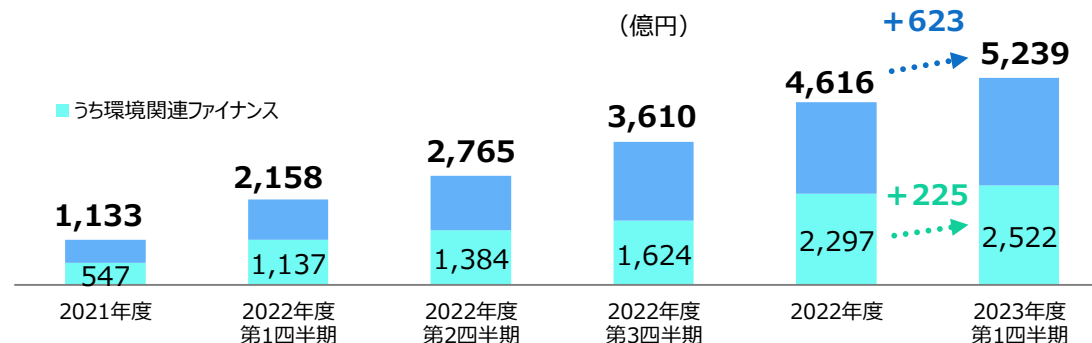
貸出金残高（地域別内訳）



サステナブルファイナンスの推進

- 2030年度迄目標**2兆円**（うち環境関連ファイナンス**1兆円**）
進捗率**26.1%**（うち環境関連ファイナンス**25.2%**）

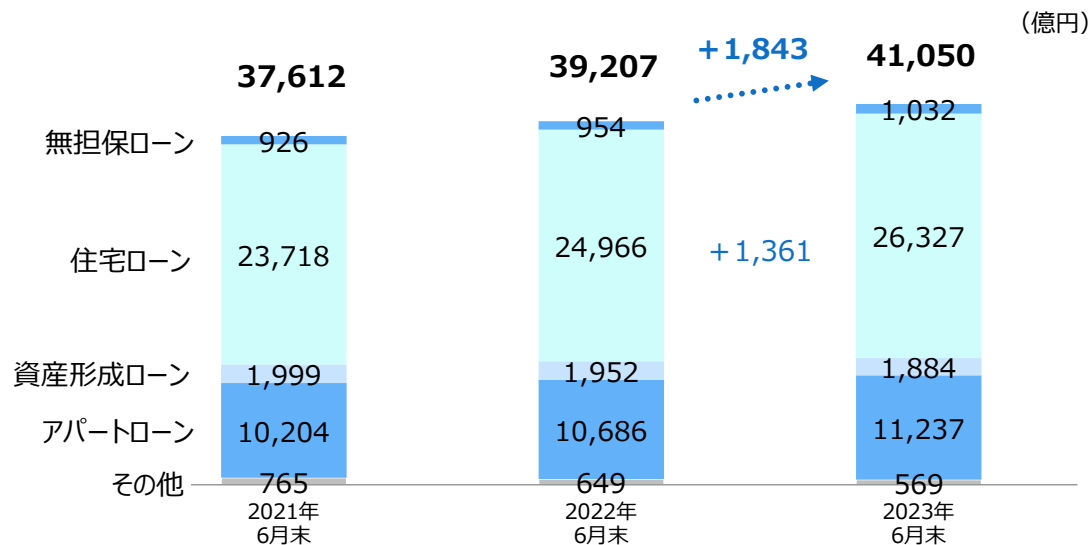
【サステナブルファイナンス実行額推移（累計）】



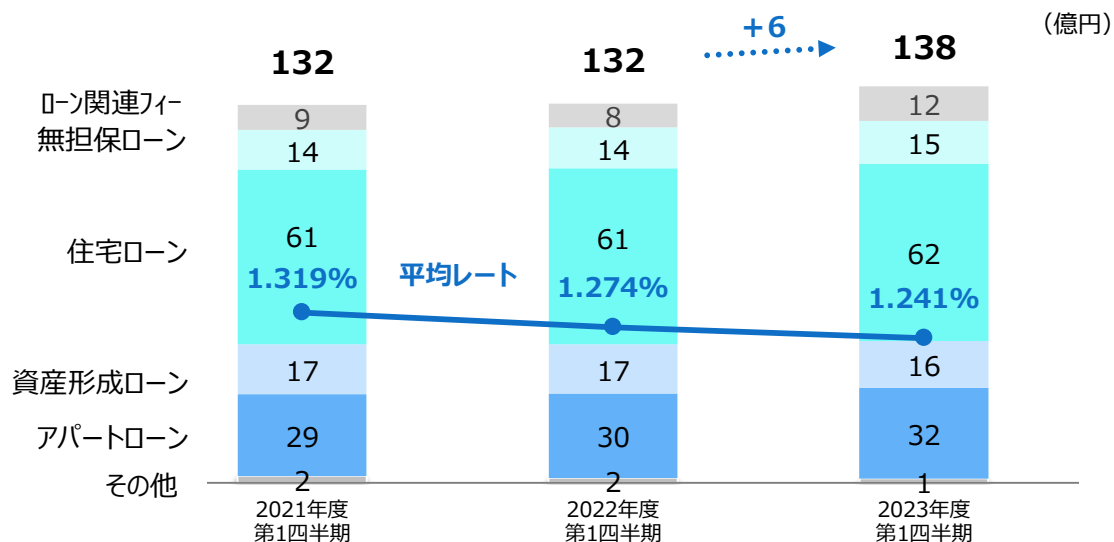
住宅ローン、アパートローン等（静岡銀行単体）

住宅ローン、アパートローン等残高は増加基調を維持

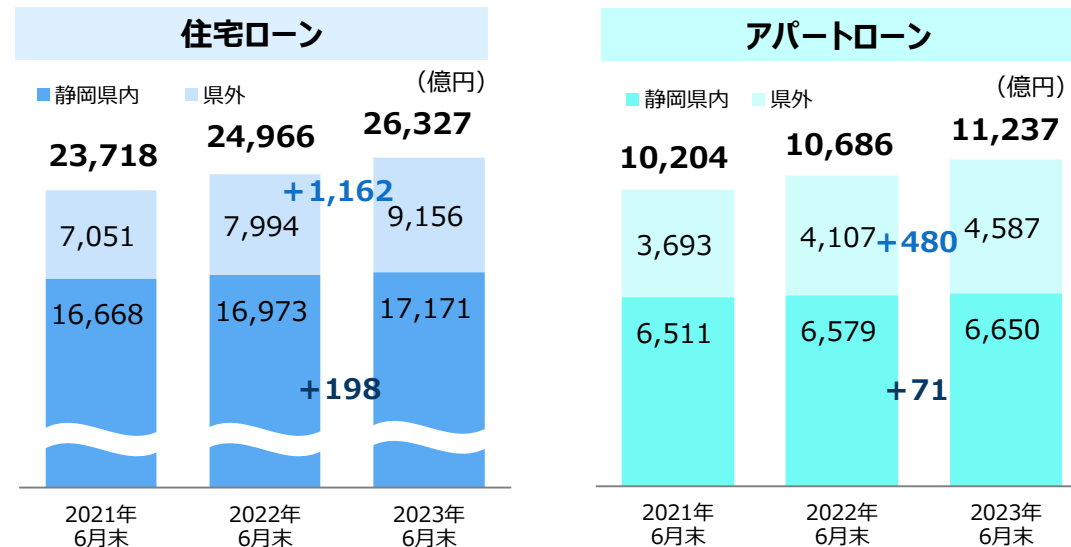
末残推移



利息額、手数料およびレートの推移



住宅ローン・アパートローンの地域別残高(末残)



延滞率・入居率の状況

延滞率 (3か月以上)	2021年6月末	2022年6月末	2023年6月末
住宅ローン	0.13%	0.10%	0.13%
アパートローン	0.03%	0.03%	0.02%
資産形成ローン	0.23%	0.21%	0.34%

賃貸用不動産入居率	2019年12月末	2020年12月末	2021年12月末
静岡県内	92.7%	92.5%	93.5%
県外	93.2%	93.3%	94.1%

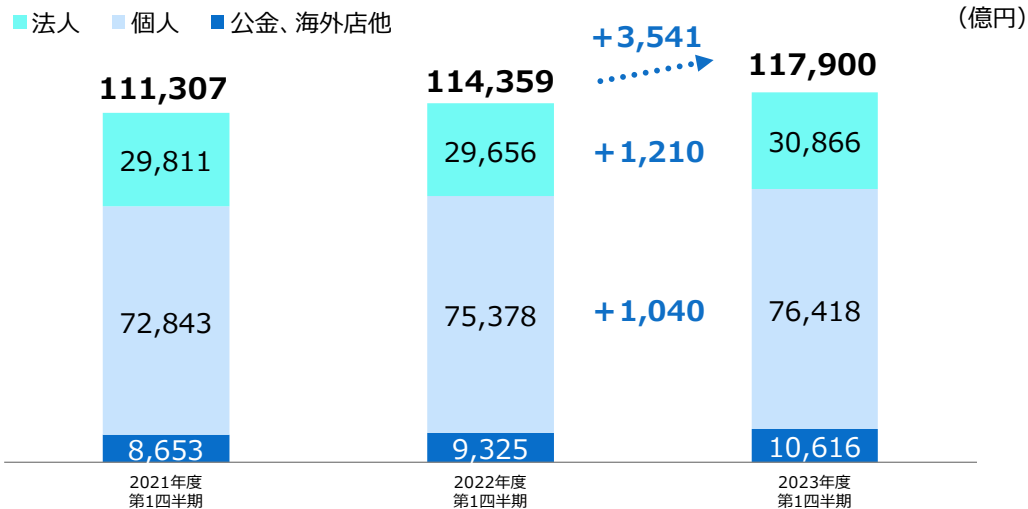
預金（静岡銀行単体）

総預金残高（平残）は、法人預金・個人預金ともに増加基調を維持（年率+3.0%）

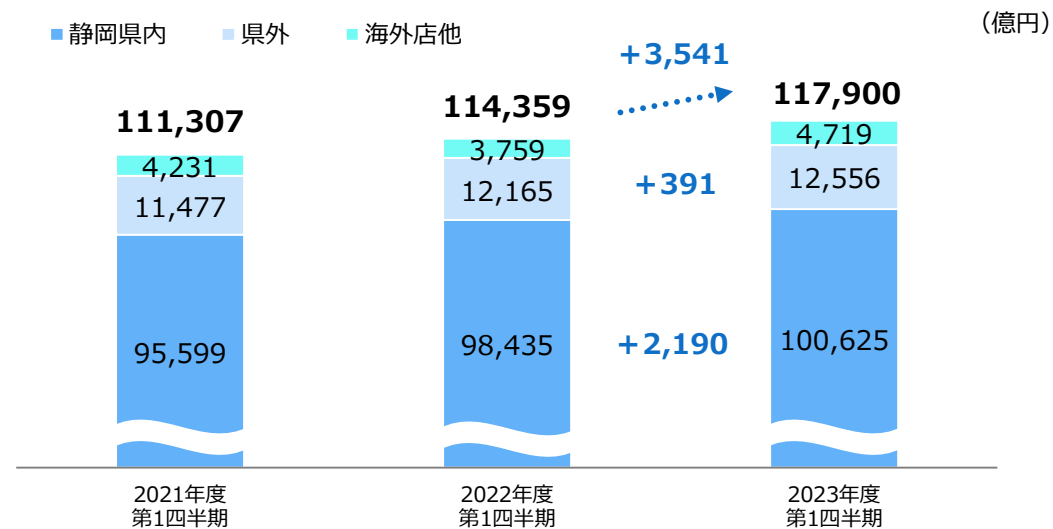
預金残高（平残）の推移

	2023年度 第1四半期	前年同期比 増加額	年率
総預金	11兆7,900億円	+3,541億円	+3.0%
静岡県内預金	10兆625億円	+2,190億円	+2.2%
法人預金	3兆866億円	+1,210億円	+4.0%
個人預金	7兆6,418億円	+1,040億円	+1.3%
公共預金	3,850億円	+7億円	+0.1%
譲渡性預金	1,248億円	+186億円	+17.4%

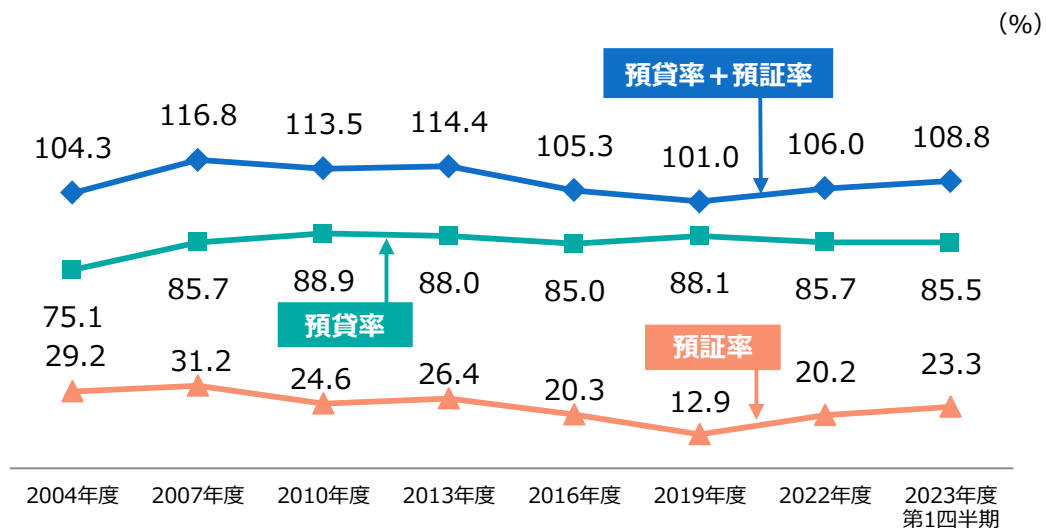
預金残高（平残）



預金残高（地域別内訳）

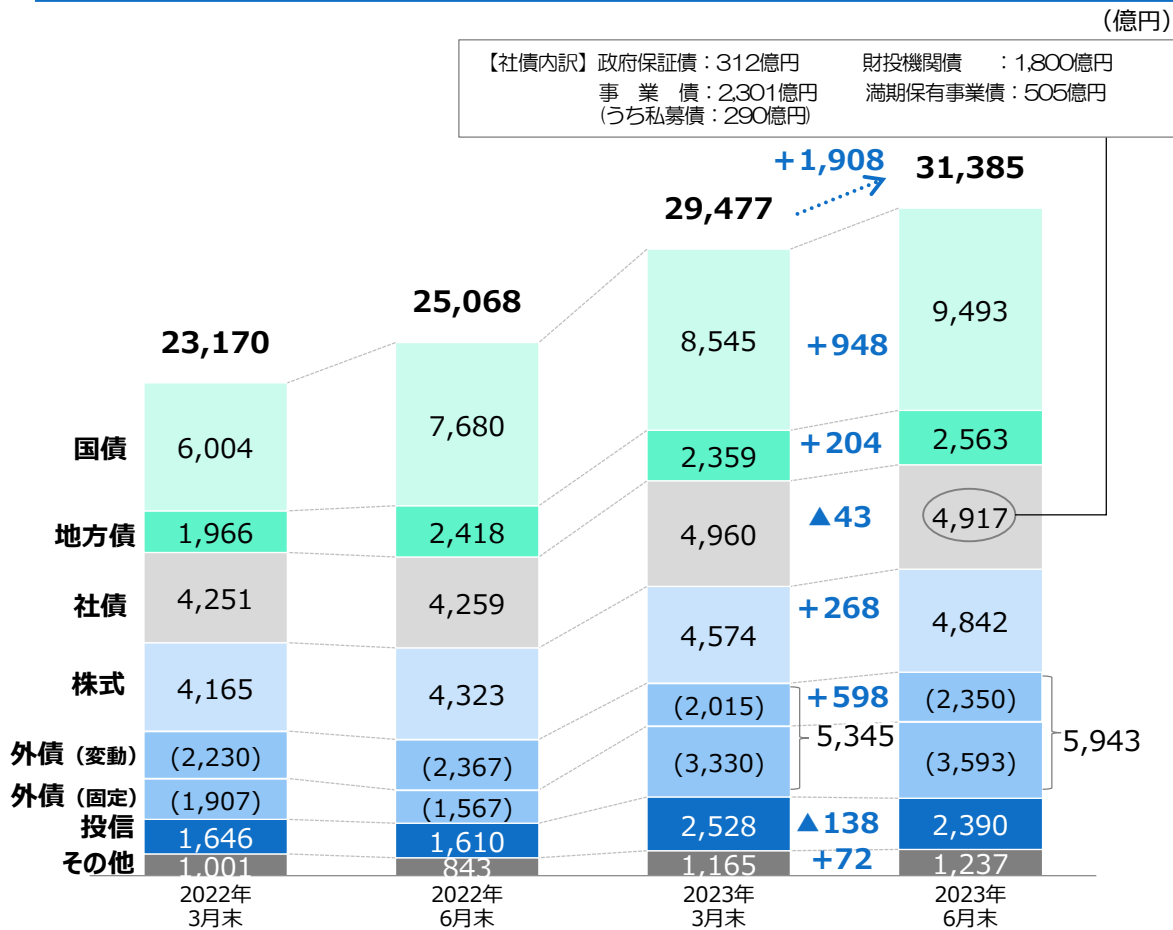


預貸率・預証率の推移（NCD除き）



中長期的なポートフォリオ構築に向け円債を計画的に購入。有価証券全体では3,452億円の評価損益を維持

有価証券の状況



〔平均残存期間 (金利ヘッジ済分は除く)〕

※先物を除く

	2022年3月末	2022年6月末	2023年3月末	2023年6月末
円債	6.17年	6.16年	6.12年	7.07年
外債*	4.15年	2.35年	2.48年	2.96年

有価証券関係損益

(億円)	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比
有価証券利息配当金	84	136	+52
うち円債	9	22	+13
うち外債	14	57	+43
うち投信 (うち解約損益)	4 (3)	1 (1)	△3 (△2)
国債等債券関係損益	△84	14	+98
うち売却益	44	40	△4
" 売却損・償還損(△)	128	26	△102
株式等関係損益	69	60	△9
うち売却益	70	60	△10
うち売却損・償却 (△)	1	0	△1

有価証券評価損益の推移

(億円)	2022年 3月末	2022年 6月末	2023年 3月末	2023年 6月末	2023年 3月末比
有価証券評価損益	+2,742	+2,795	+3,258	+3,452	+194
株式	+2,880	+3,039	+3,555	+3,832	+276
円債	△66	△110	△99	△69	+30
外債	△178	△217	△325	△461	△136
投信	+6	△25	+2	+19	+17
その他	+100	+108	+125	+131	+7

役務取引等利益

役務取引等利益は、連結ベースで増加基調を維持

役務取引等利益

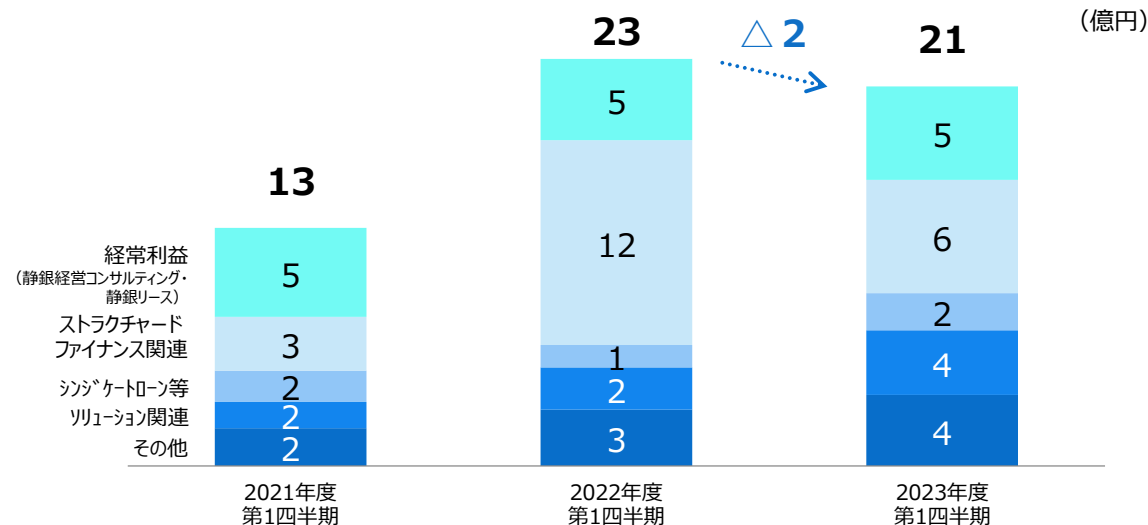
(億円)	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年 同期比
【連結】役務取引等利益	76	98	113	+15
【静岡銀行単体】役務取引等利益	37	59	70	+10
役務取引等収益	74	83	89	+6
役務取引等費用(△)	37	24	19	△4※

※うち団信配当金増加による減少分△5億円

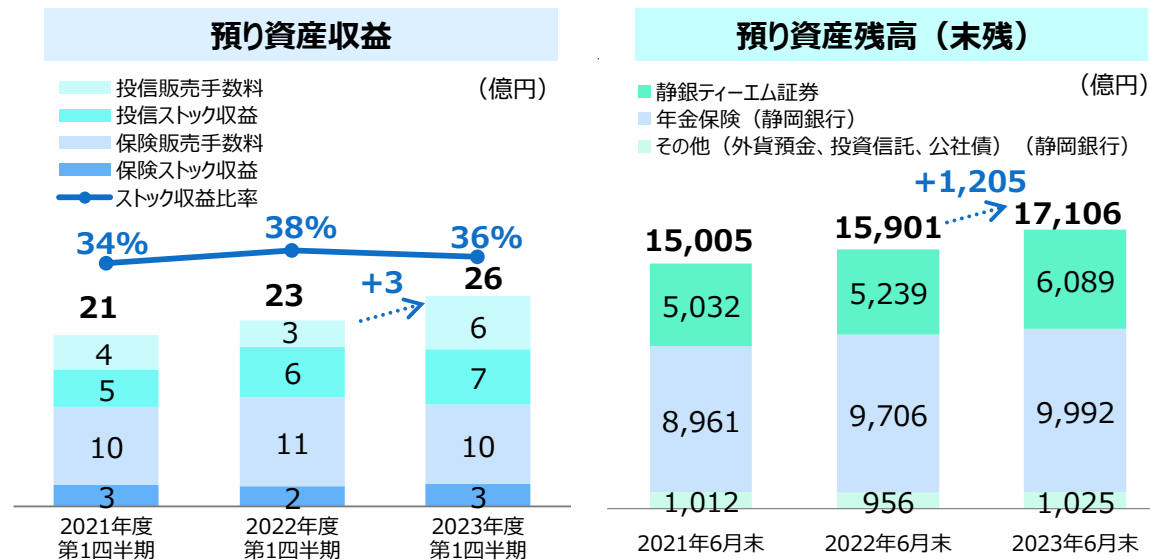
静岡銀行主要利益項目

法人関連	8	18	16	△2
ストラクチャードファイナンス関連	3	12	6	△5
シンジケートローン等	2	1	2	+1
ソリューション関連 (ビジネスマッチング、補助金支援等)	2	2	4	+1
その他(コバナンツローン・PIF等)	2	3	4	+1
その他融資関連(住宅ローン取扱手数料等)	10	8	13	+5
預り資産関連	12	14	13	△1
投信	1	1	1	△0
保険	12	13	12	△1
為替手数料(収支)	15	13	13	△0

法人関連収益(静岡銀行・静岡経営コンサルティング・静岡リース)

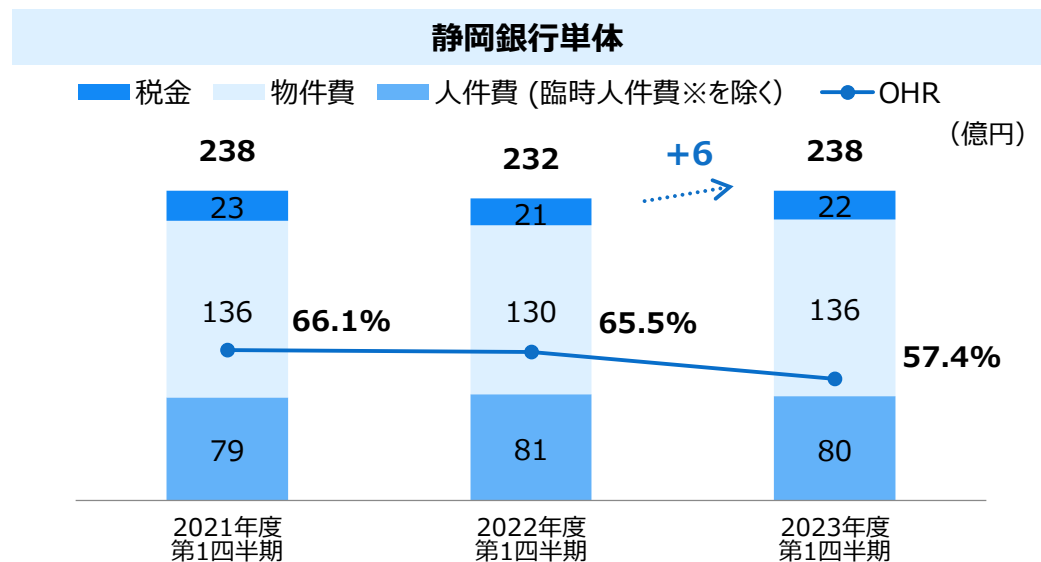
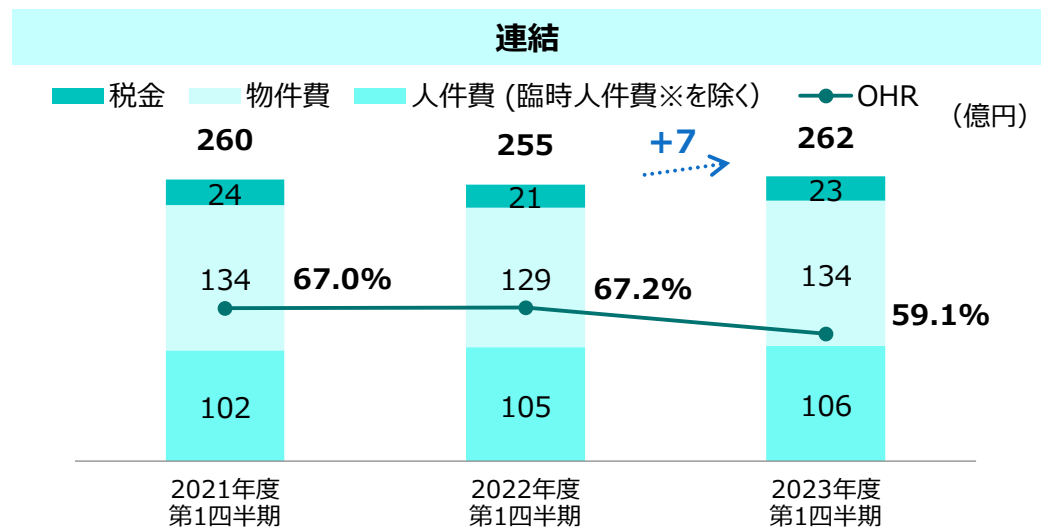


預り資産収益・残高(静岡銀行・静岡ティーム証券)



システム関連費用を中心に物件費が増加したものの、連結OHRは59.1%（前年同期比▲8.1pt）へと低下

経費およびOHRの推移



経費の主な増減要因

連結

	増減額	主な増減
税金	+1億円	静岡銀行+1億円
物件費	+5億円	ソフトウェア利用料+3億円
人件費	+1億円	静岡銀行△1億円 SFG+2億円
合計	+7億円	

静岡銀行単体

	増減額	主な増減
税金	+1億円	外形標準課税+1億円
物件費	+6億円	ソフトウェア利用料+3億円
人件費	△1億円	給与等△1億円
合計	+6億円	

[参考]
 次世代勘定系システム関連経費 30億円（前年同期比△2億円）

与信関係費用（静岡銀行単体）

与信関係費用全体で前年同期比増加も、低水準で推移

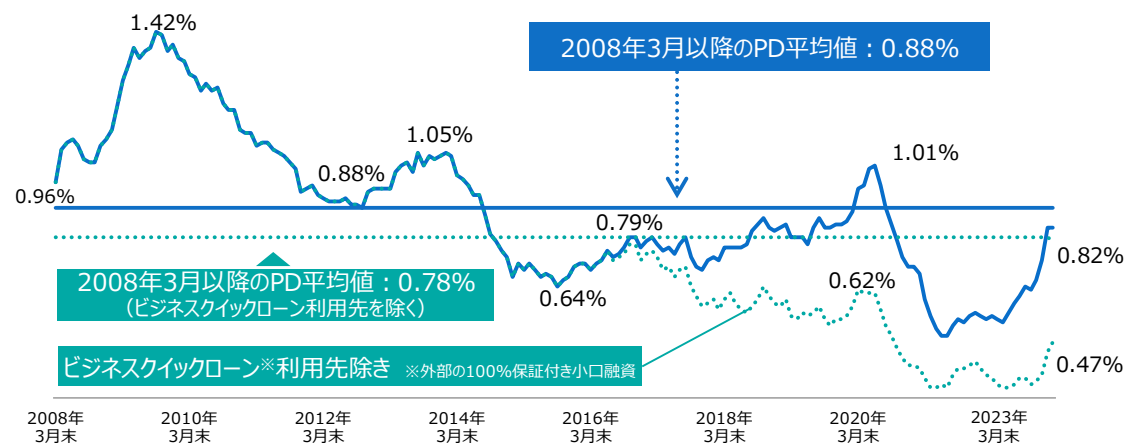
与信関係費用の内訳

(億円)	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年 同期比
【連結】与信関係費用	14	9	15	+6
【静岡銀行単体】与信関係費用	11	7	10	+4
一般貸倒引当金繰入額	1	△0	△6	△6
個別貸倒引当金繰入額	10	6	16	+10
その他不良債権処理額 ※	0	1	1	△0

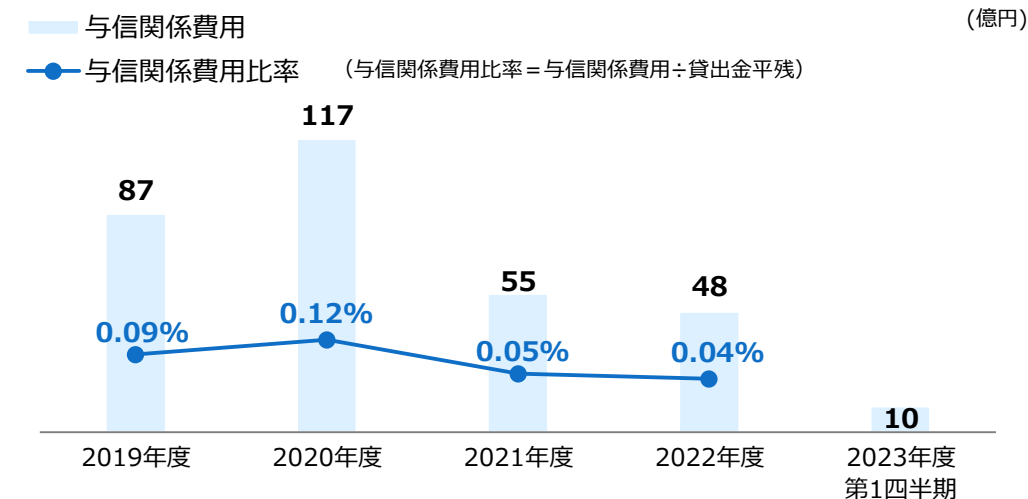
※ 信用保証協会負担金、偶発損失引当金繰入額、貸出債権等売却損などを含む

デフォルト確率（PD）の推移

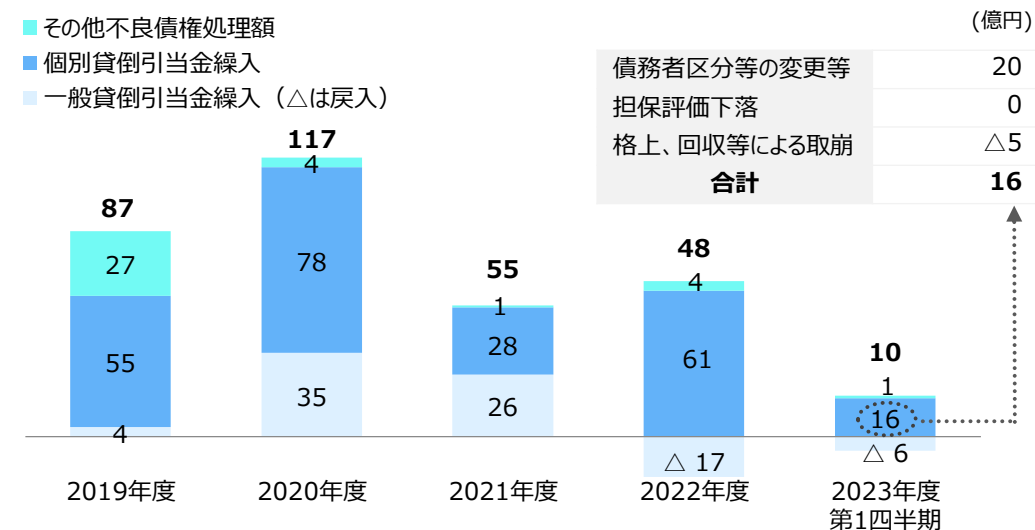
※正常先、要注意先のPD（先数ベース）



与信関係費用・与信関係費用比率の推移



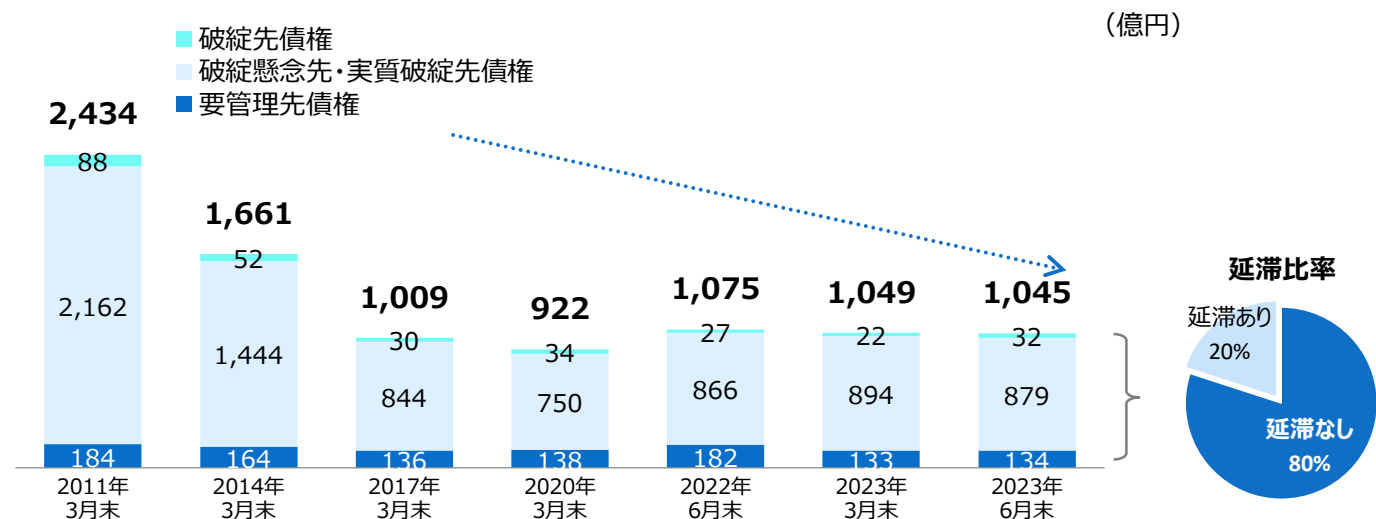
引当金繰入額およびその他不良債権処理額の推移



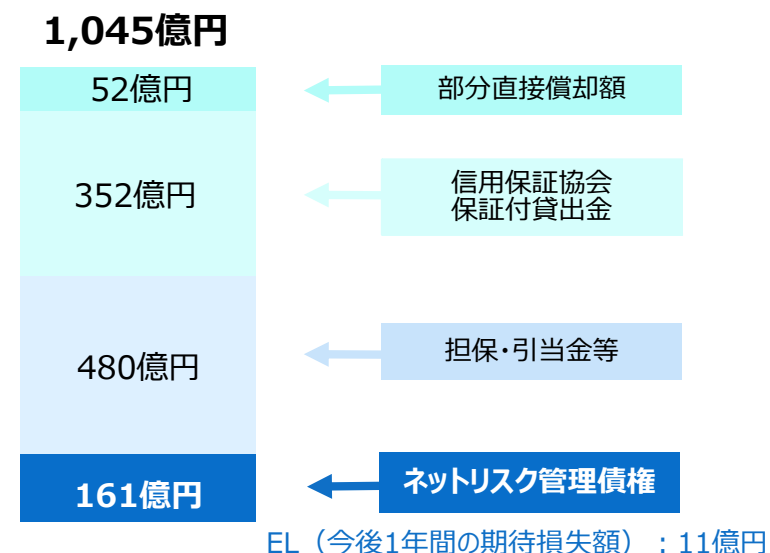
リスク管理債権（金融再生法開示債権）（静岡銀行単体）

リスク管理債権は前年同期比減少し、リスク管理債権比率は低水準で推移

リスク管理債権の推移



ネットリスク管理債権

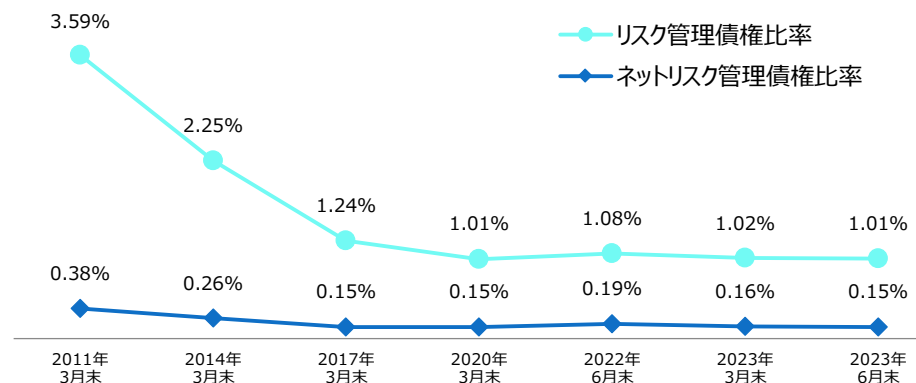


不良債権のオフバランス化実績

(億円)	2022年度	2023年度 第1四半期
新規発生	+345	+59
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△280 (△243)	△62 (△52)
リスク管理債権	1,049	1,045

本人弁済・預金相殺	△8
担保処分・代位弁済	△36
格上	0
債権売却	△8

リスク管理債権比率推移



2023年度業績予想

2023年度第1四半期実績（連結）は、経常利益233億円（進捗率29.1%）、四半期純利益165億円（同29.4%）と順調に進捗

（億円）

		2021年度 実績	2022年度 実績 (A)	2023年度 予想 (B)	前年度比 (B-A)	2023年度 第1四半期 実績 (C)	進捗率 (C÷B)
連 結	経常利益	542	740	800	+60	233	29.1%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	416	524	560	+36	165	29.4%
	ROE	3.8%	4.6%	5.0%	+0.4pt	5.6%	—
	OHR	64.2%	60.2%	58.3%	△1.9pt	59.1%	—
静 岡 銀 行 単 体	業務粗利益	1,347	1,443	1,510	+67	414	27.4%
	資金利益	1,245	1,216	1,250	+34	331	26.5%
	役務取引等利益	148	211	215	+4	70	32.4%
	特定取引利益	9	14	15	+1	2	14.0%
	その他業務利益	△55	2	30	+28	12	38.5%
	経費 (△)	882	869	890	+21	238	26.7%
	経常利益	453	676	710	+34	229	32.3%
	当期純利益	361	462	490	+28	169	34.5%
	与信関係費用 (△)	55	48	40	△8	10	25.3%



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

※本資料の金額等は原則として単位未満を四捨五入しています。また、グラフにおける前年同期比の数値の記載は表上で計算しています。

本件に関するご照会先

株式会社 しずおかフィナンシャルグループ 経営企画部 経営企画室 おくもと 納本

T E L : 054-261-3111 (代表) 054-345-9161 (直通)

F A X : 054-344-0131

E - m a i l : ir@jp.shizugin.com U R L : <https://www.shizuoka-fg.co.jp/>

しずおかフィナンシャルグループ
Webサイト〔IRニュース〕

